

# NHKへの抗議

## — 原子力報道の在り方を問う —

2014-12-21放映 NHKスペシャル



2015-10-3

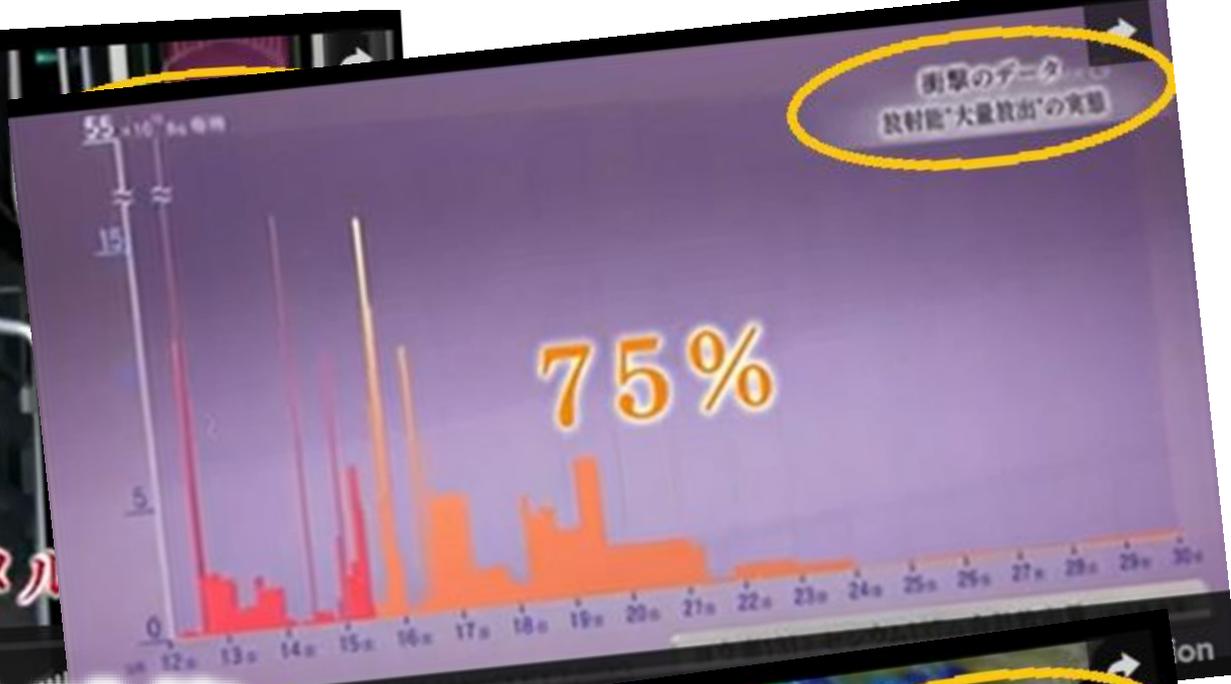
第16回SNWシンポジウム 小川 博巳



全電源喪失

01:42 / 57:58

衝撃的な映像



衝撃のデータ  
放射能大量放出の実態

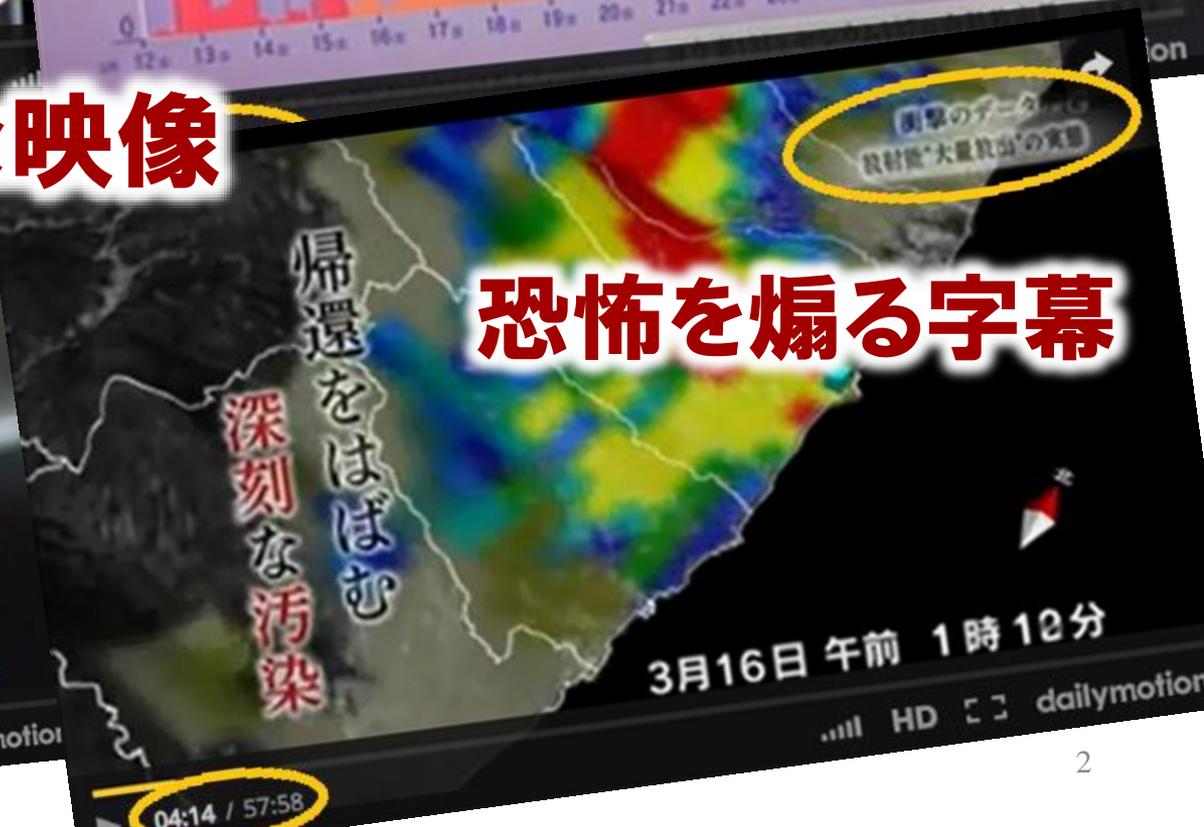
75%

04:14 / 57:58



原発の弱点

HD dailymotion



衝撃のデータ  
放射能大量放出の実態

恐怖を煽る字幕

帰還をはばむ  
深刻な汚染

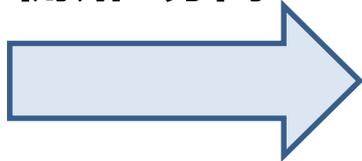
3月16日 午前 1時10分

HD dailymotion

04:14 / 57:58

十分な説明も無いまま **冒頭部分から**  
**衝撃的な映像と 恐怖を煽る字幕が続く**

開始5分間



**衝撃のデータ  
放射能“大量放出”  
の実態**



**イントロで  
不安感・恐怖感を煽る**



十分な説明も無いまま **冒頭部分から**  
**衝撃的な映像と 恐怖を煽る字幕が続く**

開始5分間

5分後 ~ ~ ~ ~ 終了まで

連続表示される字幕

衝撃のデータ  
放射能“大量放出”  
の実態

メルトダウン  
知られざる大量放出

衝撃的な映像と共に  
イントロで  
不安感・恐怖感を煽る

無言の字幕が訴える  
専門家の名を借りつつ  
視聴者に与える「催眠効果」

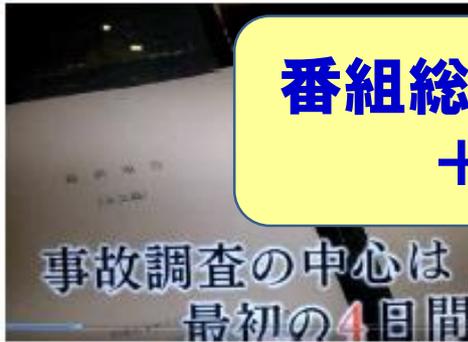
# シーン毎の疑問・問題点・間違いの指摘

3

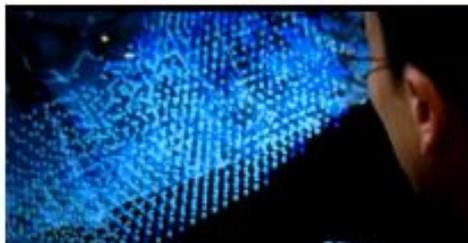


例示

番組総てのシーン 86画像  
+ ナレーションを文字化



4



〈ナレーション〉  
福島第一原発は巨大津波によってすべての電源が失われ3つの原子炉が次々とメルトダウンしました。

さらに1号機と3号機の建物が爆発。  
これまで放射性物質の大半は事故発生から最初の4日間で

調査など国がこれまでに行った事故調査はこの4日間が中心でした。しかし、その放出は全体の一部に過ぎませんでした。

〈「考証」著者から指摘〉  
考証著者の石川迪夫氏が指摘  
国プロや学会などで十分な議論を経て検証されたものか？

〈事実歪曲〉  
汚染がひどくなったのは、飯館村に風が吹いていた3月15日以降であったことは、当時の報道で広く国民に知られて

これまで放射性物質の事故発生から最初の4日間で出されたと考えられてきました。」は明らかなNHKの事実歪曲である。  
原子力安全保安院などの国の調査報告書には、4日間以降の汚染がひどくなったデータを多数掲載している。

△  
2015. 1. 15 付  
電気新聞  
ウェブ記事

文献 3~7  
図 1

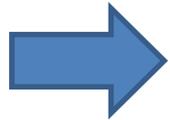
×  
第 1 章・解説 1

全64頁

×  
文献 2

NHKスペシャル（約1Hr 放映）

指摘された間違い・問題点は約60件（毎分1件）



## **間違いの指摘に基づき 抗議は明白な4点に絞る**

1. 「知られざる大量放出」は事実には反する
2. 「ベントで大量の放射性物質が放出された」は事実には反する
3. 「3号機への少量の冷却水注入が却って放射性物質の発生量を増やした」は事実には反する
4. 「マニュアルなんて全然できていません」は事実には反する

# 「NHK倫理・行動憲章」と「行動指針」

## 「NHK倫理・行動憲章」 (20.10.15改定)

**本憲章に反する事態が発生したときは、迅速に調査と原因究明にあたり、再発防止に努めるとともに、社会への説明責任を果たします。**

## 「行動指針」 (27.4.1改定)

**正確な放送を行い、事実をゆがめたり、誤解を招いたりする放送は行いません。事実との相違が明らかになったときは、速やかに訂正します。**

# NHK抗議・私どもの要望

- ① 私達が指摘した諸問題事項について、真摯に検証し、反省をお願いしたい。
- ② 放送後、**事実と異なる放送内容であったことが判明した際には、そのことを適切な形で全国の視聴者に伝えるとともに、今後の原発再稼働問題 或は原子力の安全性等について公正・公平な番組の制作と放送をお願いしたい。**
- ③ NHK放送倫理規定を厳格に遵守し、常に公正公平な報道に努めて頂きたい。 そのためには、倫理規定に反しているとの抗議文が出ないように、放送する前に放送内容に関して、**専門家の別の視点から再確認をする手続きを踏んで頂きたい。**

# NHK抗議・BPO申し立て

**NHK会長宛** ①2015/2/1付 ②2015/3/1付 ③2015/5/16付  
NHK回答 H27/2/5 H27/3/17 H27/8/27

**NHKスペシャル「メルトダウンFile. 5  
知られざる大量放出」への抗議と要望**

**放送倫理・番組向上機構(BPO) 2015・2・1付  
放送倫理検証委員会宛**

**NHKスペシャル「メルトダウンFile. 5  
知られざる大量放出」(2014年12月21日放送)  
の審理願い**

(注記) NHK抗議・BPO申し立て関連資料は、下記HPをご参照ください。

SNW・HP: <http://www.aesj.or.jp/~snw/>

エネルギー問題に発言する会: <http://www.engy-sqr.com/>

日本放送協会 会長 榎井 勝人 殿

大型企画開発センター エグゼクティブ・プロデューサー 菅野 利美 殿

『NHKスペシャル「メルトダウンFile.5 知られざる大量放出」  
貴協会の再回答(20150318付)への再々要望と事実と反する確認書』

拝啓

時下、益々ご健勝のこととお慶

当該番組の放送内容について、  
せて戴きました。その都度、迅速  
ざいます。しかしながら、私ども  
行線の状態になっていることが残

言うまでもありませんが、視聴  
的な科学技術には精通しておりま  
当該番組の放送内容を“視聴者が  
を述べ、問題点を指摘しました。  
がどの辺にあるかをより正確にご

再々要望として纏め、また事実と反する確認書に整理いたしました。

貴協会が専門家のご協力のもとに行った検討結果については、学協会等に開  
示し広く議論することができる場を設けることを要望します。

【資料の構成】

1. NHK再回答(150318)への再々要望  
特に重要だと思われる4項目とします。
2. 事実と反する4項目の確認書  
(4項目は上記と同じ)
3. 添付資料  
添付資料1 「3号機のベントに関する検討」  
添付資料2 「崩壊熱とジルコニウム・水反応に関する検討」  
添付資料3 「3月15日の放出源は2号機である」  
添付資料4 「シーン毎の疑問・問題点・間違いの指摘」

# 事実には反する4件の確認書

## (1) 「知られざる大量放出」は事実には反する

区分	映像No.	ナレーション	「事実ではない」内容とその理由	備考
(1) -1	3	これまで放射性物質の大半は最初の4日間で放出されたと考えられていました。今回新たなデータを解析し専門家とともに映像化、結果は衝撃的なものでした。最初の4日間で放出された放射性物質は全体の25%に過ぎませんでした。その後二週間にわたって全体の75%もが放出が起きていたのです。	「知られざる大量放出」は公知の事実である 「2回目の要望書」では16件の参考文献を引用して *3年前の論文でも5日目以降の放出比率は75%以上占めていた *5日目以降の放出量が多いことは専門家の研究でも公知の事実だった *知られざる衝撃の大量放出としたピークは3年前の論文にも記載されていた *衝撃の大量放出とは「知られざる大量放出」ではない	
	4			
	6			
	7			

## (2) 「ベントで大量の放射性物質が放出された」は事実には反する

区分	映像No.	ナレーション	「事実ではない」内容とその理由	備考
(2) -1	40	十五日の午後以降翌朝までの時間帯をみても北西方向に放射性物質の濃度が極めて高い場所が現われました。この汚染をもたらしたものが今回新たに分かった全体の10%を占める放出だったのです。専門家が注目したのはこの時間帯に放出された放射性物質の種類です。	ヨウ素の濃度から原因をベントとするのは即断過ぎる ヨウ素の濃度が高まったのはこの時ばかりではなく、3月21日以降にも高まっていることを「2回目の要望書」で指摘しましたが、「その原因は不明で今後の検討が必要だ」との回答でした。科学技術的に未解明の公認事項です。	
	41			

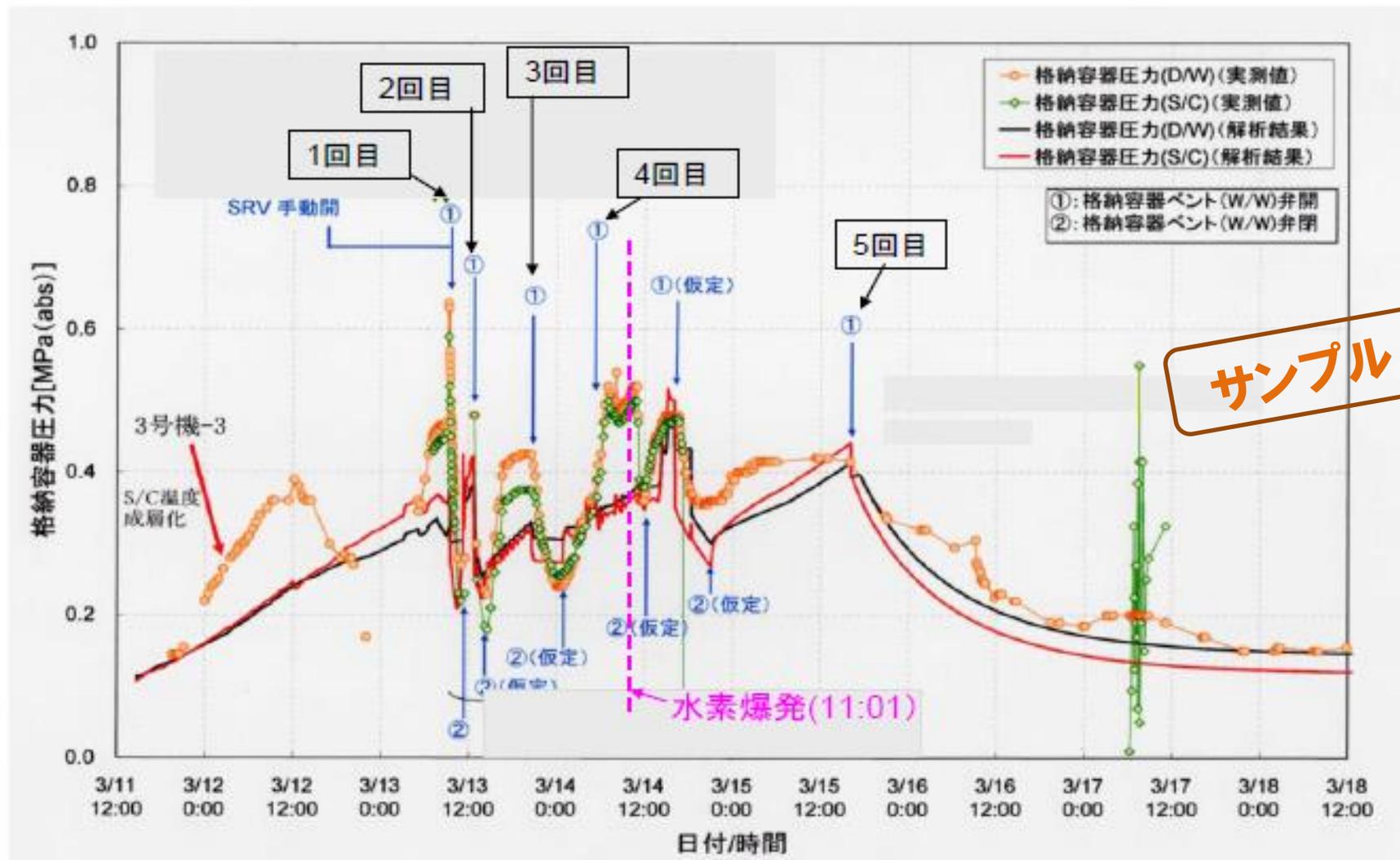
## (3) 「3号機への少量の冷却水注入が却って放射性物質の放出量を増やした」は事実には反する

区分	映像No.	ナレーション	「事実ではない」内容とその理由	備考
(3) -1	30	「水を入れたことによって溶けていなかった燃料の温度がさらに上がる。で、また溶けだす。メルトダウンによって核燃料の43%が溶け落ちたもの、半分は中心部に残っている状態でした。溶け残った核燃料のメルトダウンを防ぐためにはすべて水で浸す必要があります。しかし実際には水	崩壊熱とジルコニウム-水反応熱について(説明) 3号機は13日の未明から炉心冷却ができなくなり、その後、電源が復旧した22日までの約10日間は消防車からの注水が続けられました。その10日間における発熱量の内訳は、放射性物質からの崩壊熱が約94%を占め、ジルコニウム-水反応熱が約6%を占めました。	添付資料2参照

## (4) 「マニュアルなんて全然できていません」は事実には反する

区分	映像No.	ナレーション	「事実ではない」内容とその理由
(4) -1	7	「もともとマニュアルなんて全然できていませんからね」	私どもは、原子力発電所の運転のために詳細なマニュアルが整備されており、そのマニュアルに基づいて訓練が行われてきた実状を熟知しております。一方で、今回の福島事故の実状を振り返ると、貴協会が提示された資料に記載されている内容を含めて、マニュアルや施設・設備の不備があり、訓練が不足していたことも理解しています。貴協会もその実情は今までの二回にわたる情報交換によって十分理解して戴いていると推察いたします。そこで、一般視聴者を念頭において、再度確認させていただき、左記の原子炉の専門家の発言は番組冒頭部分で紹介されたものです。貴協会の「正確な放送を行い、事実をゆがめたり、誤解を招くような放送はいたしません」と言う行動指針に賛同し、今後の放送を向上させることを目指します。

# 添付資料1 3号機のベントに関する検討



出典：石川迪夫著「考証 福島源威力事故“炉心溶融・水素爆発はどう起こったか”」  
東京電力「福島原子力事故調査報告書」より作成

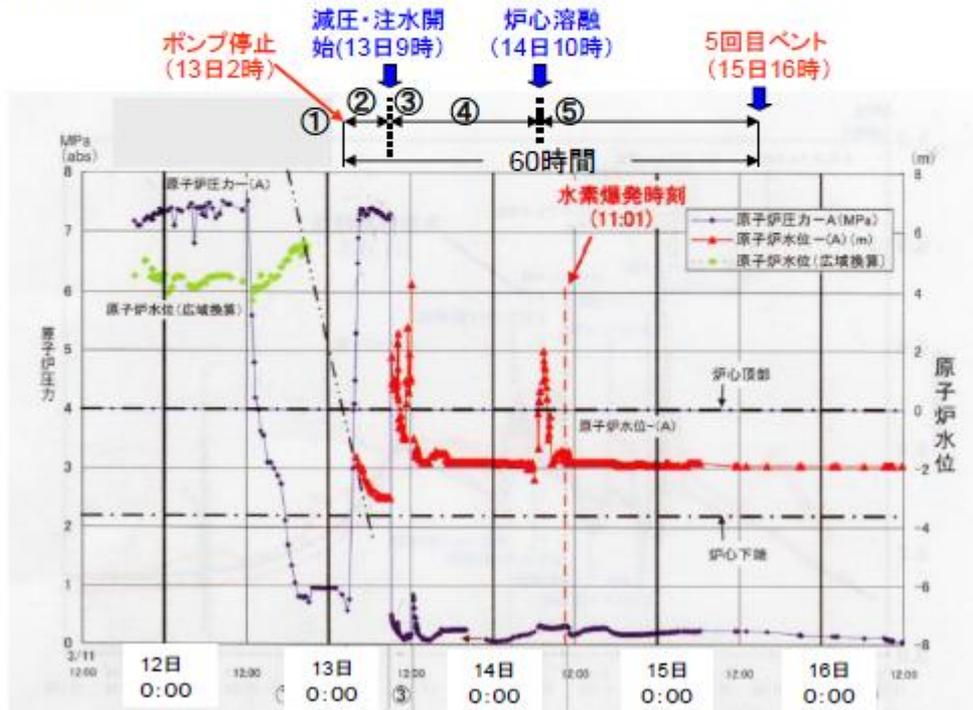
# 添付資料2

## 崩壊熱とジルコニウム-水反応に関する検討

図1 3号機の炉心の状態(13日未明～15日16時)



サンプル



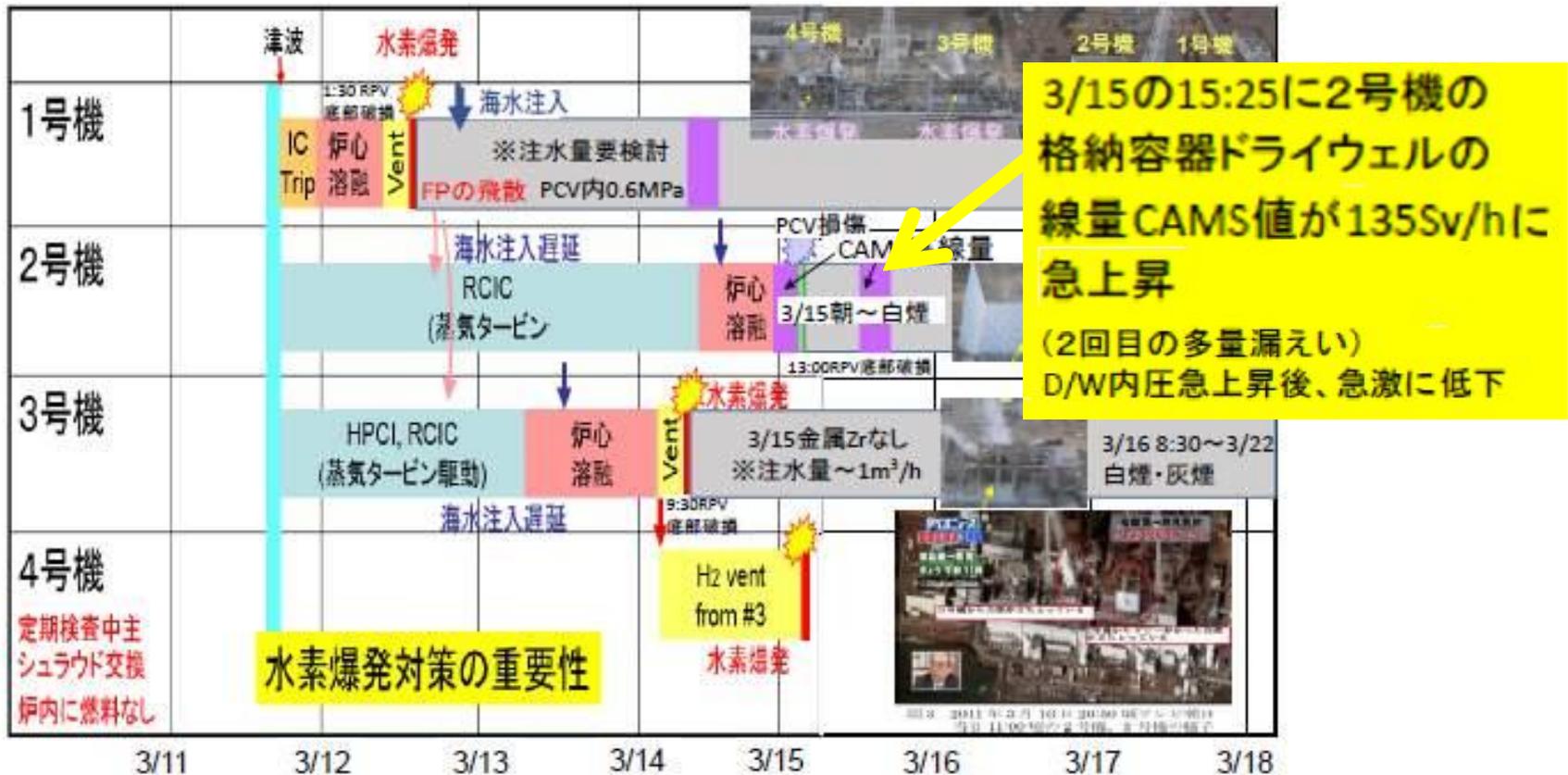
- \* 13日10時頃までに炉心に装荷されていたジルカロイは殆ど全て水蒸気と反応したと推定される。
- \* その時点で若干のジルカロイが残っていても15日16時までには全て反応し尽くしていたと推定される。

# 添付資料3 3/15の報出源は2号機

IHK が3号機の5回目のベントで地元を汚染したと言っていた事象は、  
 勿理的には起こりえない事象であることを確認。

2号機の原子炉から格納容器に多量の放射性物質が放出されたことが  
 原因である可能性が極めて高いことを確認しました。

**サンプル**



# 事実にも反する指摘ポイント

## 1. 「知られざる大量放出」

- 「知られざる大量放出」は**公知の事実**である
- 視聴者は「新たな大量放出が明らかになった」、  
「その原因が初めて解明された」と **誤解**する
- 「原発にひそむ構造的な弱点」との放映は、**明確な技術的判断ミス**

## 2. 「ベントで大量の放射性物質が放出された」

- ヨウ素の濃度から原因をベントとするのは**即断過ぎる**
- ベントと10%を占める放出には**時間的なずれ**がある
- ベント配管がフィルターの役割を果たすとは**考えられない**
- 「ベントを繰り返すうちに水が溜まり始める」**現象は実機では起こらない**
- 「しばらく水と蒸気が押し合う状態が続く」**現象は実機では起こらない**
- 本実験は科学技術的正当性を主張する**根拠になりえない**
- 「ベントを繰り返したことで起きたとみられる10%の大量放出」は

**事実にも反する 他**

# 事実に対する指摘ポイント

## 3. 「3号機への少量の冷却水注入が却って放射性物質の発生量を増やした」

- 今回明らかになった全体の75%を占める大量放出は、およそ2週間続いていました。その間、原子炉内部では消防車による注水が原因で放射性物質が出続けていました。それが格納容器の隙間からじわじわ漏れ出し、長時間の放出につながったと見られています。 ← このナレーションの殆どが誤りです。
- 「消防車による注水がこの75%の大量放出につながった」とする放送内容は事実ではない。 他

## 4. 「マニュアルなんて全然できていません」

- 原子力発電所の運転のために詳細なマニュアルが整備されています。マニュアルや設備に不備があり、訓練が不足していたことも事実です。
- 原子炉の専門家の発言は番組冒頭部分で紹介されたものです。貴協会の「正確な放送を行い、事実をゆがめたり、誤解を招いたりする放送はおこないません」と言う行動指針に沿った放送でしょうか？

# メディア各紙の報道状況 - その1

- 1/16 電気新聞 ウェーブ:石川迪夫氏  
「**またも捏造－NHKスペシャル**」
- 1/19 GEPR (アゴラHP) : 諸葛宗男氏  
「**間違いだらけのNHKスペシャル  
－マルチダウン・知られざる大量放出**」
- 1/19 促進会ニューズレター : 諸葛宗男氏  
「**余りに多い誤った認識の報道**」
- 2/2 電気新聞 ウェーブ : 石川迪夫氏  
「**許しがたいNHK原子力報道-2**」
- 2/3 電気新聞 記事  
「**エネ・原子力3団体  
NHKに抗議書送付**」
- 2/7 GoHoo トピックス  
「**Nスペ『知られざる大量放出』に  
事実誤認**  
**原発関連団体がBPOに審理要請**
- 2/12号 週刊新潮  
「**専門家138人がBPOに提訴！  
NHKスペシャル『知られざる大量  
放出』の捏造箇所**」
- 3月号 エネルギーフォーラム: 中村政雄氏  
「**嘘で固めたNHKスペシャル**」
- 4/9 電気新聞 ウェーブ: 石川迪夫氏  
「**許しがたいNHK原子力報道-3**」

## 電氣新聞

2月3日付

### エネ・原子力関係3団体 NHKに抗議書送付 福島第一事故番組で

昨年12月21日、NHKが放映したNHKスペシャル「メルトダウン ファイル5 知られざる大量放出」の内容が、事実と反する点が多いとして、

エネルギーや原子力の関係者などで構成する3団体は1日付で、NHKに対し抗議書を送付するとともに、放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員会に対し審理願を行った。

抗議を行ったのはエネルギー問題に発言する会(金氏顕代表幹事)、日本原子力学会シニアネットワーク連絡会(小川博巳会長)、エネルギー戦略研究会(金子熊夫会長)の3団体。抗議書には136人が署名した。

「メルトダウン ファイル5」は、東京電力福島第一原子力発電所事故について、3月15日午後以降の放射性物質放出に焦点を当てたもの。

米軍の空母が記録していたデータを解析し、新たに、15日以降の2週間の放出放射線物質全体の75%にあたる事実が明らかになったとした。また3号機の5回目のベントで、配管内に蓄積した放射性物質が一気に放出され、全体の10%の大量放出となったなどとしている。

抗議書では、3月15日午後以降の大量放出については事故直後からデータが公開され新たな発見ではないことを指摘。さらに5回目のベントが行われた15日午後4時には、福島第一の敷地境界における放射線測定記録に目立った数値が計測されていなかったこと、またベント配管内に放射性物質が蓄積されていたとしてもその量は少なく、大量放出につながったとの推論には無理があることなど、科学的根拠を示しつつ反論した。

これらの「明らかに事実と反する」4点の誤りを指摘した上で、「誤りに基づいた番組構成によって、視聴者に原子力への不安感を必要以上に抱かせる」として、公明正大な番組づくりを要望している。

## メディア各紙の報道状況

<http://gohoo.org/15020701/>

報道を変える。見る目が変わる。

# GoHoo

非営利の一般社団法人 日本報道検証機構  
報道の正確性などを検証し、  
「報道品質」向上やメディア・リテラシーに  
有益な情報を提供



「Nスペ『知られざる大量放出』に事実誤認」

原発関連団体がBPOに審理要請





# メディア各紙の報道状況 - その2

6月号 エネルギーフォーラム・ニュースファイル

「NHKが根負け！？  
原子力報道に変化」

9月号 エネルギーフォーラム:早野睦彦氏

「NHKが失った公正な報道  
国民の不安煽る大量放出」

9月号 WEDGE:石川遼夫氏

「福島教訓に基づく  
正しい原子力規制とは」

9月号 エネルギーレビュー:小川博巳

「公共放送NHKの自覚を問う」

9月号 エネルギーレビュー:牧英夫氏

「NHK原子力報道を考える(上)」

10月号 エネルギーレビュー:牧英夫氏

「NHK原子力報道を考える(中)」

11月号 エネルギーレビュー:準備中

「NHK原子力報道を考える(下)」

11月号 歴史通-対談記事:準備中

「NHK-知られざる大量放出-  
2号機と3号機を取り違え、  
類かぶり」

# メディア各紙の報道状況

投稿 投稿  
**原子力報道を考える**  
 上

投稿  
**NHK原子力報道を考える**  
 中  
 2014年12月21日放送 NHKスペシャル  
 「マルチタスクFlu5 初5れざる放射能大量放出」  
 多田製作所収録  
 敬 英夫

**エネルギーレビュー誌 9月・10月号**  
 11月号は準備中

記事

出したが、未だ回答を載いていない。それらの内容を三回に分けて紹介。4個人の意見・感想

炉心No.	1000	2000	3000	4000	5000
圧力変化 (MPa/g)	0.11→0.26	0.43→0.23	0.43→0.18	0.52→0.34	0.44→0.15
放出水量 (t/h)	215.095	221.060	116.180	197.097	102.104
放出熱量 (x10 <sup>4</sup> J)	259.107	221.100	221.100	102.104	221.100
炉心No.	35	5	39	0.6	2.3
炉心No.	0.7	5	0.6	0.6	0.6

炉心No. 35, 5, 39, 0.6, 2.3

炉心No. 0.7, 5, 0.6, 0.6, 0.6

炉心No. 0.7, 5, 0.6, 0.6, 0.6

# メディア各紙の報道状況 - その2

6月号 エネルギーフォーラム・ニュースファイル

「NHKが根負け！?  
原子力報道に変化」

9月号 エネルギーフォーラム:早野睦彦氏

「NHKが失った公正な報道  
国民の不安煽る大量放出」

9月号 WEDGE:石川遼夫氏

「福島教訓に基づく  
正しい原子力規制とは」

9月号 エネルギーレビュー:小川博巳

「公共放送NHKの自覚を問う」

9月号 エネルギーレビュー:牧英夫氏

「NHK原子力報道を考える(上)」

10月号 エネルギーレビュー:牧英夫氏

「NHK原子力報道を考える(中)」

11月号 エネルギーレビュー:準備中

「NHK原子力報道を考える(下)」

11月号 歴史通-対談記事:準備中

「NHK-知られざる大量放出-  
2号機と3号機を取り違え、  
頻かぎり

これほど多数の報道・反響は何か?

= NHK抗議 に対する メディア各誌の賛同!

# 原子力専門家 メディア対応

**学会倫理規程**：事実を尊重し，科学的に明白な間違いに対しては毅然とした態度でその間違いを指摘し，是正するよう努める。

- ① 錚々たる専門家が協力
- ② 短時間ではなく、協議を繰り返す
- ③ 結果的には、専門家の協力・出演が  
**公正・公平な番組制作と放送に繋がらなかった**
- ④ 何故か？ メディアへの抗議の継続・・・
- ⑤ 原子力専門家の対応姿勢の反省
- ⑥ **学会への提言：**  
**『原子力専門家のメディア対応の心得』**

# 原子力専門家 メディア対応の心得

**学会倫理規程**：事実を尊重し，科学的に明白な間違いに対しては毅然とした態度でその間違いを指摘し，是正するよう努める。

## ① 事前の確認

- メディアの報道主旨を事前確認
- 記事・放送の全体シナリオ確認
- 誓約の事前取得
- 正確な情報活用
- コメント修正の受入

## ② 情報提供の在り方

- 科学技術的に検証済の情報
- 国民に解り易く伝える配慮
- 可能な限りエヴィデンスを残す

## ③ 提供後の確認

- 記者が正しく理解したことを確認すべし
- 提供情報がどう使われたか
- 記事原稿の確認
- 放映前のプレビュー

## ④ 認識を改めよ

- メディアを介して国民に説明
- 発言の細切れ使用に要注意
- 提供情報の全責任は専門家

# 裏返せば -- メディア報道の心得

**学会倫理規程**：事実を尊重し、積極的に明白な間違いに対しては毅然とした態度でその間違いを指摘し、是正するよう努める。

## ① 事前の確認

- メディアの報道主旨を事前確認
- 記事・放送の全体シナリオ確認
- 誓約の事前取得
- 正確な情報活用
- コメント修正の受入

## ② 情報提供の在り方

- 科学技術的に検証済の情報
- 国民に解り易く伝える配慮
- 可能な限りエヴィデンスを残す

## ③ 提供後の確認

- 記者が正しく理解したことを確認すべし
- 提供情報がどう使われたか
- 記事原稿の確認
- 放映前のプレビュー

## ④ 認識を改めよ

- メディアを介して国民に説明
- 発言の細切れ使用に要注意
- 提供情報の全責任は専門家

# NHKへの抗議

— 原子力報道の在り方を問う —

**公共放送としての NHKの自覚を！**

**我が国の  
エネルギー安全保障は  
原子力が柱**